

Weekly コラム

令和5年5月9日

〒541-0055 大阪市中央区船場中央 2-1

船場センタービル 4号館 4階

船場経済倶楽部

Tel 06-6261-8000

(NPO 法人 SKC 企業振興連盟協議会) Fax 06-6261-6539

人の輪・衆智・繁栄

活動方針



当団体は、異なる業種の経営者が相集い、力を合わせ、自らの研鑽と親睦を通じて、斬新な経営感覚と新たな販売促進を創造して、メンバー同士でより健全な事業所とその事業所のイメージアップを図り、地域社会に貢献できる事業所となることを目的とする。

2115年

東日本、中日本、西日本の高速道路3社は、老朽化した道路や橋の改修のため新たに1兆円が必要との計画を正式発表しました。対象区間は500キロ、上下線合わせ960キロになります。既に公表済みの首都高速、阪神高速を含めると、5社合計で1兆5000億円に上ります。

政府は高速道路有料期間を2065年までとしている現行制度では費用を賄えないと判断し、2115年まで徴収期限を延長する法改正案が今国会に提出されることになりました。50年延長するという、事実上、半永久的となったことで様々な声が上がっています。「道路の安全を維持するために老朽化対策を実施するのだから、やむを得ないのでは」「今生きている人はほとんど無料の恩恵に授けられない」など。

実際、国土交通省の有識者部会でも「料金の徴収期間はたびたび先送りされ、無料化の説明に不信感が高まっている」と指摘されています。「そのうえで高速道路の今後の在り方として、永久に有料化にするのか、無料化した場合には税金で維持するのか、そのどちらかしかないのでは」と両論を唱えています。

ただ、税金を投入する無料化は、高速道路を利用しない人の理解を得るのが容易ではなく、とても難しい問題です。結果、先延ばしする事になってしまっているのかもしれません。

しかし高速道路永久有料化に関しては、反対意見ばかりではありません。「2012年の中央自動車道笹子トンネル天井板崩落事故」が起き、高速道路の老朽化対策費の増加には

一定の理解が得られています。事故後に、各社に5年に1度の定期点検を義務付けるなどしたところ、高速道路では大型車の通行量が一般道路の10倍以上あることなどにより、当初の想定以上の劣化や損傷がおきていたのです。

又、新たなトンネルや橋梁の建設、高速道路の4車線化などを求める声も多く、丁寧な説明があれば、さらに国民の理解が得られると言われています。

とことん議論をした上で、現実的な方向転換も必要なのかもしれません。



記事の内容に関するお問い合わせは事務局までご連絡ください。

ウィークリーはメールでの配信も行っております。お手数ですが、「メール希望」・「配信停止希望」と件名にご入力の上、

skc-soudan@skc.ne.jp まで空メールをご送信ください。また、FAX ご不要の際は、その旨をお電話にてお申しつけください。